



西深津学区 まちづくり計画



好きです西深津・絆を結ぶまちづくり
We love Nishifukatsu



西深津学区まちづくり推進委員会

好きです西深津

～ 地域の絆を結ぶ ～

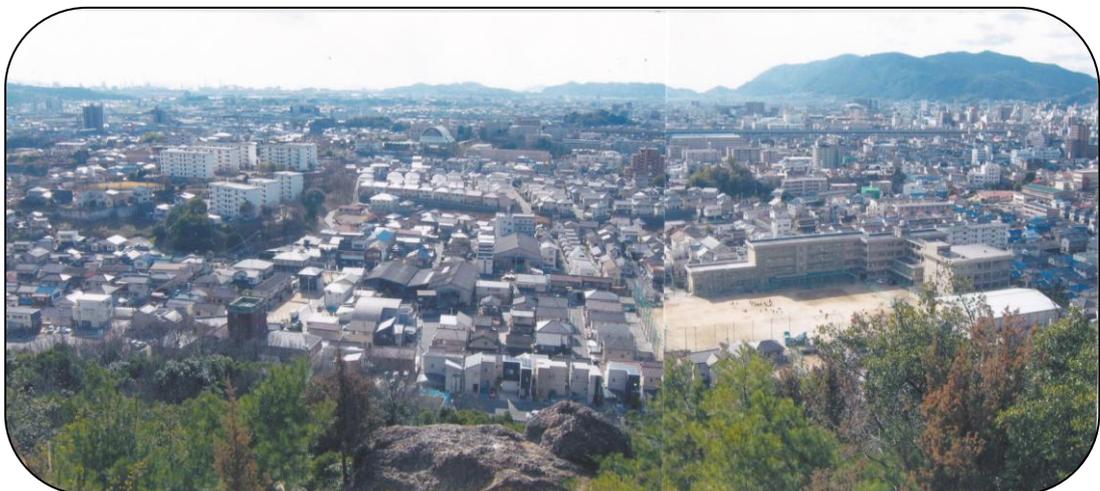
We love Nishifukatu

福山市民憲章

私たちは恵まれた自然の中に育った 福山の市民です
私たちの福山市は たくましい市民の不屈の精神によって築かれ
大きく発展しつづけている希望の町です

私たちは 福山市民であることに誇りと責任をもち
お互いのしあわせをねがい よい市民となるために
市民憲章を定め 心のよりどころとします

- 心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう
- ちいさな親切を 勇気を持って行いましょう
- きまりを守り よい習慣をつくりましょう
- 子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう
- 文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう
- 人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう



西深津学区まちづくり計画書

= 目 次 =

1. はじめに	1
2. まちづくり計画の目的	2
(福山市「第二次福山市協働のまちづくり計画」策定の目的)	
3. 西深津学区まちづくり計画の指針	3
4. 「西深津学区まちづくり計画」策定の経過	4
(1) 推進体制	
(2) 計画日程	
5. 「西深津学区まちづくり計画」の目標(私たちがやるべきこと)	5
〈「住みよいまちづくり学習会」(2012～2014年度)意見集約〉	
6. 「西深津学区まちづくり計画」の取り組み項目	15
(1) 取り組み項目(継続事業、新規事業)	
(2) 取り組みの重点項目	
7. 小学生が調べた「こんなにすてきな西深津」～わたしたちのふるさと～	21



1. はじめに

「第二次福山市協働のまちづくり計画」に基づく「福山市・地域まちづくり計画」に沿って、西深津学区まちづくり計画を策定しました。

策定に当たっては、西深津学区では、毎年、各町内会で実施している「住みよいまちづくり学習会」で、3年にわたり計画的に論議し、まちづくり推進委員会でも議論を重ね、住民の意見を集約しました。

学習会で出された意見は、現在の多岐にわたる学区の状況を全般的に網羅しており、今後の指針に大きく寄与しました。ご協力いただきました住民の皆さまに感謝いたします。

学区の計画は、各町内会・諸団体と深くかかわっており、それぞれの活動と連携しながら進めなければなりません。したがって、計画は町内会・諸団体の活動内容を一体的に織り込みました。計画が実質的に実のあるものにするためにも、学区まちづくり推進委員会を構成する町内会・諸団体が計画の主体となり、今後、点検・検証をしながら、計画を前向きに推進実施していくことが求められます。そして、それぞれの町内会・諸団体が伸展していくことが基本です。

私たちの西深津が、さらに誇れる西深津となるよう、共に力を合わせましょう。

好きです西深津。We love Nishifukatu!

西深津学区まちづくり推進委員会

委員長 山岡孝幸

2. まちづくり計画の目的

福山市では現在、市制施行100周年となる2016年（平成28年）に向け、「どのような『まち』をめざしていくのか」、「そのためにどんなことに取り組んでいく必要があるのか」など、まちづくりに関する方向性や重点項目を定め、今後5年間の具体的な取組をまとめた「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定し、自主・自立のまちづくりに向け、取り組んでいます。

全国的に少子高齢化・人口減少社会が進展し、福山市においても、今後、現在と同じ市民サービスを継続して提供し続けることは困難な状況のなか、「ずっと住み続けたい」、「住み続けることができる」持続可能なまちづくりを行っていくためには、地域における市民活動の主体となるまちづくり推進委員会を中心に、市民、ボランティア・NPO、学校・大学、企業、行政等とお互いの役割を認識し、連携しながら、より良い地域づくりを行っていかねばなりません。そのためには、まずはそこに暮らす住民のみなさんが、自分たちの住む地域を見つめ直し、地域のめざすべき将来像や地域課題・生活課題をお互いに出し合い、地域に住む住民のみんなでも共有する必要があります。

この「地域まちづくり計画」は、地域に住むみなさんが、日ごろから感じる課題や望ましい将来像を互いに出し合い、取りまとめるものであり、今後、地域におけるまちづくりの「柱」となっていく計画です。

みなさんのお住まいの学区（町）で、多く住民のみなさんの「想い」をまとめ、それぞれの地域の状況にあった「地域まちづくり計画」を策定していきましょう。

「福山市・地域まちづくり計画作成のてびき」

3. 西深津学区まちづくり計画の指針

西深津学区における課題・活動・将来像については、これまでも、単位町内会や各委員会・諸団体などのさまざまな場で議論され取り組まれてきた経過があります。その中で、現状において実現していることや継続課題となっていることもあります。

今回、「西深津学区まちづくり計画」を作成するにあたって、あらためて、これまでの取り組みや課題をふまえながら、「まちづくり学習会」等で、現状を把握しながら、これからの学区の将来像を考えてきました。

西深津学区では、まちづくり計画のキャッチフレーズを、長年、諸団体の集会等の冒頭で唱和し馴染んできた「市民憲章」の各節の内容を目標項目としてとらえ、継続的・自覚的に学区まちづくりの合言葉とすることにしました。今後、各集会で市民憲章を唱和するたびに、学区の計画内容を思い起こし、計画実現に向けて前向きに取り組むこととします。

西深津学区まちづくり計画書のメインタイトルは、「好きです西深津」〈We love Nishifukatu〉～地域の絆を結ぶ～とし、取り組みの具体的な項目内容は、次のとおり、福山市民憲章の各節ごとに定めます。

<p>【 メインタイトル 】 「好きです西深津」〈We love Nishifukatu〉～ 地域の絆を結ぶ ～</p>
--

【 キャッチフレーズ 】 福山市民憲章の各節	取り組み項目
<p>キャッチフレーズⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう ○ ちいさな親切を 勇気を持って行いましょう 	<p>① 地域交流・活性化 (学区・町内会)</p>
<p>キャッチフレーズⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ きまりを守り よい習慣をつくりましょう ○ 子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう 	<p>② 地域教育・生涯学習 ③ 地域環境・衛生 ④ 安心安全・防犯 ⑤ 防災 ⑥ 自然環境</p>
<p>キャッチフレーズⅢ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう ○ 人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう 	<p>⑦ 人権啓発 ⑧ 地域福祉 ⑨ 地域文化 ⑩ スポーツ・健康</p>

4. 「西深津学区まちづくり計画」策定の経過

(1) 推進体制

西深津学区まちづくり推進委員会

(2) 計画日程

日 程	会 議 等	内 容
2012 年度 9月	2012 年度第 2 回西深津学区人権学習 推進協議会委員会	「地域まちづくり計画作成のてびき」(福山市)説明
10月	町内会毎「住みよいまちづくり学習会」	「西深津まちづくり話し合いのしおり」による、話し合 い。(第 1 回)
2月	2012 年度第 3 回西深津学区人権学習 推進協議会委員会	学区「住みよいまちづくり学習会」における「西深津ま ちづくり話し合い」のまとめ
3月	2012 年度第 7 回西深津学区まちづくり 推進委員会	「地域まちづくり計画策定にかかる事務手続きマニユ アル」(福山市 2013.2)説明
2013 年度 9月	2013 年度第 2 回西深津学区人権学習 推進協議会委員会	「地域まちづくり計画作成のてびき」(福山市)説明
10月	町内会毎「住みよいまちづくり学習会」	「西深津まちづくり話し合いのしおり」による話し合い (第 2 回)
11月	2013 年度第 5 回まちづくり推進委員会	「西深津まちづくり計画」策定にかかる事務内容協議
2月	2013 年度第 6 回まちづくり推進委員会	学区「住みよいまちづくり学習会」における話し合いの まとめ
2014 年度 4月	2014 年度第 1 回まちづくり推進委員会	「西深津学区まちづくり計画」策定計画 打ち合わせ
9月	2014 年度第 2 回西深津学区人権学習 推進協議会委員会	西深津まちづくり計画作成」概要協議
10月	町内会毎「住みよいまちづくり学習会」	「西深津まちづくり話し合いのしおり」による話し合い (第 3 回)
12月	まちづくり推進委員会事務局	意見のまとめ、調査結果の集約(1)
1月	まちづくり推進委員会事務局	「西深津まちづくり計画」策定原案まとめ
2月	2014 年度第 6 回まちづくり推進委員会	「西深津まちづくり計画書」内容協議
3月	2014 年度第 7 回まちづくり推進委員会	「西深津まちづくり計画書」内容協議
2015 年度 4月	2015 年度第 1 回まちづくり推進委員会 (総会)	「西深津まちづくり計画書」内容決定 印刷・配布計画決定
5月		印刷・配付

5. 「西深津学区まちづくり計画」の目標(私たちがやるべきこと)

【 住みよいまちづくり学習会(2012～2014年度)の意見集約 】

- 西深津学区では、西深津学区まちづくり計画策定に向けて、2012年度～2014年度の3年間、単位町内会ごとに「住みよいまちづくり学習会」で、テーマを定め話し合いを進めてきました。
- 学習会で話し合われた内容は、学区・町内会の多岐にわたる分野について議論されており、「西深津学区まちづくり計画」策定の基底となる貴重な資料となりました。また、内容は町内会ごとに多少の差異は見られますが、今後の活動に資するため、ほぼ全てにわたり掲載しました。

話し合いの実施	2012年10月 11町内会 参加者:317人 (学区の17.1%)	2013年10月 11町内会 参加者:247人 (学区の16.0%)	2014年10月 12町内会 参加者:246人 (学区の14.7%)
話し合いのテーマ	学区まちづくり計画に向けて 1. 学区・町内会の 良い点、自慢できる点 2. 課題、問題点、よくしたい点。 3. 目標、取り組むこと、やるべきこと。将来像。		

○キャッチフレーズ I (福山市民憲章) ○ 心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう ○ ちいさな親切を 勇気を持って行いましょう	①地域交流・活性化 (学区・町内会)
--	-----------------------

①地域交流・活性化(学区・町内会)

[町内会]

- 良い点 ・ 定例行事がある。(町内会での初日の出、日帰り旅行など)
- ・ とんどに関していろいろ役員の方が良くやっていただける。(巖山西町内会)
 - ・ 広島から引っ越してきたが、福山は役員が強制でないのが驚いた。
 - ・ 役員の2年任期がちょうど良い。
 - ・ 町内会行事の参加者が多く、皆さん協力的である。
 - ・ 資源回収はよくやっている。
 - ・ 町内会への加入により名前がわかって顔見知りになりやすい。
 - ・ 初役員をしていろいろと教えていただいているので嬉しい。
 - ・ 回覧物を1件ずつポストに配布。
 - ・ ガードレールを塗装してから町内の団結が強まった。
 - ・ 親切に近所づきあいをしてくださり、助かった。
 - ・ 資源回収も定着してきて、皆さん協力してくれるようになった。
 - ・ 毎年「新年会」を開催する。
 - ・ 回覧物を1枚ずつ取ってもらおうと回覧に挟んだが、帰ってきたので1枚1枚に名前を書いた。

- 課題 ・ 役員が固定化している。
- ・ 連合会のリーダーをおしつけられる。
 - ・ 町内の高齢化が、急速に進み将来に不安がある。
 - ・ 各行事に参加が少ない。PR不足。
 - ・ 町内会に入る家庭が少ない。メリットとは？
 - ・ 人数が少ないので行事が出来なくなっている。
 - ・ 町内会に入っている家がとびとびになりよくわからない。

- ・4町内会で資源回収をしているが、高齢化が進み各町内会で行う話が出ている。
- ・宿舎の電灯が切れており、個人で対処することがある。
- ・町内会に入会していない一人暮らしの高齢者への関わり方が課題。
- ・大きな町内会は望ましくない。小さな町内会を目指していく。(暁北)
- ・子ども会がなくなってさみしい。子どもたちが増えるなどの状況を見つつ検討する。
- ・安否が互いに確認できる町内会に。
- ・役職に就くことを嫌がり、町内会に入会しない人たちが多い。
- ・高齢化や、広島 of 災害もあり、町内をどうするのか？対岸の火事と思ってはいけない。
- ・高齢の方は、町内会に入っても役員ができないと言われる。それを乗り越えるには？
- ・町内会の役員の引き継ぎができていない。長期ビジョンができない。
- ・ゴミステーションへの町内会未加入者に対する経費負担の問題をどうするか？
- ・町内会の退会者が多い。対策はないのか？
- ・マンションの人達にも町内会に入ってもらいたい。
- ・町内会に入っていないければ回覧板もまわってこない。掃除等も知らないうちに終わっている。
- ・配布を組長の仕事としては負担が大きい。(足腰が悪い、件数が多い、坂道が多いなど)
- ・町内の放送が聞き取りにくい。災害時の連絡が伝わらない所もある。
- ・低入居率の問題。
- ・役員や当番がすぐに回ってくる。会費等の収入が少なく、これまでと同様の支出が困難。
- ・急速な入居者交替の問題(深津山)。
- ・入居者は国家公務員か国の独法職員(深津山)。現状での安心感の反面、切迫感が低い。
- ・入居期間が短い(深津山)。永住意識はなく、積極的にコミュニティに参加する意識が低い。
- ・何も情報が入ってこない。

- 目 標
- ・高齢化社会に移行して行く中で、役員の仕事を分散し、仕事を軽くする。
 - ・回覧物を順送りにせず、1件ずつ配布すればよい。
 - ・行事参加への呼びかけ、新団地の人への働きかけ、日常的な近所との接点。
 - ・組ごとに集まってよく話をして町内に広める。
 - ・町内会費の運用方法を考えて全員が良い方向に。
 - ・学区の会合の後、町内で定期的に協議をして町内全般に内容が行き渡る様に。
 - ・町内会に入ってもらうため、助け合いや話し合いの場をつくる。
 - ・何かあった時(例えば災害など・・・)の為に、町内会加入の声かけが必要。
 - ・家族ぐるみで町内会行事へ参加してもらいたい。
 - ・町内活動は女性、お年寄りに任せず若い男性の参加も必要。
 - ・町内で良いところはほめ、町内同士で支えあうこと。それを意識しあいながら行うこと。
 - ・町内会の在り方、活性化の方策を再考する時期。会員増、会を充実・発展させよう。
 - ・マンション等に居住している人たちへの町内会加入の取り組みを。
 - ・町内の行事に参加するのはよい事。もっとみんな参加してほしい。交流が深まる。
 - ・町内会に入っていない人、挨拶しない人など、具体的に示し、実行するしくみを作ってはどうか？
 - ・組単位の話し合いが必要。挨拶、回覧持参時の声かけが必要。
 - ・回覧チラシだけでは不十分。目につく場所に貼るポスターを作ってはどうか？
 - ・転入居者や町内会未加入の方へ町内会への誘いのチラシを配布し、参加を呼びかける。
 - ・町内会加入が強制的になれば、役員のまわってくる回数も減り、顔をあわすことになるのでは？
 - ・アパート(団地)の人たちにどうやって町内会へ加入してもらおうか、どのように対処していくか。
 - ・若い人が行事への参加が少ないように感じる。
 - ・新しい町内会員の発掘が必要となってくるのではないだろうか？
 - ・町内会に入るメリットは、人との交流、ふれあいだと思う。近所同士の声かけで顔見知りになる。
 - ・行事を通じて顔見知りになると思うので、行事の時の呼びかけ(町内会会員から非会員へ)。
 - ・声をかけるなどをして、町内会へ入られるきっかけづくりを今後は考えてみては？
 - ・行事に参加すると地域の実態はもちろん、町内会の雰囲気等よくわかると思う。
 - ・ふれあう場があれば、町内会っていいなという風にメリットを感じる部分が出てくると思う。
 - ・公園清掃、資源回収に参加してもらおうようお願いする。(生活に密着した事へ参加してもらおう)。
 - ・財源確保の重要性(町内会費)
 - ・町内会への加入、未加入に関わらず、全体で懇親会を開いてみてはどうか？
 - ・町内会への入会を呼びかける通信、チラシ等を作成し、配布してはどうか？
 - ・回覧物が多い。必要なものが埋没し情報が行き届かない。回覧物を少なくできないか？
 - ・大事なものは「回覧」にして、それ以外のは「掲示板」に掲示してはどうか？
 - ・大事なものは全戸配布した方がいいと思う。
 - ・回覧は見ただけでは頭に残らない。カレンダーや手帳に予定を書き込むなどの工夫が必要。
 - ・配布すべきものと回覧だけで済むものを分けたほうがよい。

- ・町内会に入っていない人へ、足を運んで直接話しかける。(孤立した人を作らない。会費も安く)
- ・町内会のことを、学区全体で、学区の会議の内容を町内会で話し合い周知する。
- ・区長、理事、部長、役員の流れを密にして、各部を機能させていくことが必要。
- ・放送システムのスピーカー設置場所など関係町内会で改善方法を検討している。
- ・顔見知りが少ない問題、草刈りなど共同作業の機会を増やす(回数、単位)。
- ・新人が町内会役員になれるシステム。役員引継の仕組み作り。新旧役員の情報共有強化。
- ・短期で入居者が変わることを前提とした運営の仕組み、ルールが必要(深津山)。
- ・掲示板に情報を貼ろう。
- ・資源回収日など各町内会員のポストに入れる。
- ・町内会未加入者問題の話し合いを。まちづくりの原点だから。

[活性化]

- 良い点
- ・高齢者が積極的に行事に参加し、手伝いをしてくれる。
 - ・ラジオ体操や子どものプール監視など幅広い活動をしている。
 - ・子どもが増えてきた。
 - ・子どもが増えてきてラジオ体操の参加も増加。

- 課題
- ・学区の行事はマンネリ化している。
 - ・老人会は活発に活動しているが子ども達や若い世代との交流があまりない。

- 目標
- ・親睦行事を計画したらどうか。
 - ・まちづくりは、皆が意見を出し合って進めよう。
 - ・役員会の時に役員で気付いた事は話し合う様にしていく。
 - ・1人1人の方が「自分に何ができるか」という問いかけをして生活してほしい。
 - ・「学習会」の意見集約はよくまとめられている。委員会をつくり、実行する段取りをしてはどうか。
 - ・盆踊り、文化祭、人権週間、餅つき、とんど、蓮池川の掃除など、行事を続けることが大事。
 - ・子ども会が今はないが、子どもみこしだけでも出来るようにならないか？
 - ・子ども達を招待して、おたのしみ会等の行事をしてはどうか？
 - ・子どもを育て、若い親の世代にもっと町内に関心をもってもらいたい。

[地域交流]

- 良い点
- ・お互いの助け合いが良い。気配りが良い。
 - ・学区の行事も多いため、転勤で来た人も比較的参加し交流をもてる。
 - ・ふれあい親睦会(10周年)を実施。
 - ・挨拶をしてくださり、気持ちの良い町内だ。
 - ・生協や子どもたちの母親といった関係で人の繋がりができ、楽しい付き合いがある。
 - ・隣近所の人とお互いに仲が良い。
 - ・住宅の方も垣根を越えて参加されている事は、とてもいい事だと思う。
 - ・いろんな世代が集まれる時間帯で準備し、みんなで楽しむ。
 - ・ボランティア活動をして、近親者の様にして良かったと思う。
 - ・楽寿会(老人会)の活動が活発である。

- 課題
- ・老人会の方の時間帯に準備等をしているのが現状で、若い世代には 見えない。
 - ・新しい住宅になって近所との付き合いが薄くなるのではないか。
 - ・昔より人は増えているが、日頃のふれあいは少なくなっている。
 - ・子どもの数が少なくなっている。高齢者が多くなっている。
 - ・地域に溶け込めない、地域も受け入れる余裕が無い状況がある。
 - ・仕事をしていると地域になじめない。
 - ・老人ホームにいくと寂しい(会話がでない)。
 - ・現在は町内会未加入者もゴミを収集でき(昔は捨てられなかった)顔を合わせる機会が減少。
 - ・みんな好きな時間帯にゴミを捨てられるので、朝顔を合わせる事がなくなった。
 - ・近所付き合いが難しいところはどうか接すればいいのか？
 - ・今の若い人は積極的に人間関係を持つことを避ける傾向がある。
 - ・町内の事業所が主催する行事に多数参加しているが、町内在住の人の参加は少ない。

- 目 標
- ・若い世代を巻き込んだ行事を。
 - ・お互いに顔を見て挨拶をしていくことで、人間が変わっていく。
 - ・男性も退職後いろいろ一歩進むと町内でのふれあいが始まる。
 - ・きっかけをつくってあげないと出にくい。
 - ・町内・学区に出ていると顔を知ってもらえる。(事故などあっても心強い)
 - ・会合等に出て、全員とコミュニケーションが取れる様にする。
 - ・コミュニケーションや絆を持ち、子どもの育成、高齢化など団結して支えあっていく。
 - ・若い人や新しい人が参加しやすいような役員のしくみや事業を考えることが必要。
 - ・みんなで気持ちよく挨拶のできる町内会をめざす。
 - ・話し合い・声かけは大切である。
 - ・挨拶など小さな事から始めましょう。
 - ・今「あいさつ運動」を月1回女性会となごみ会でやっている。町内会も一緒に行うのはどうか？
 - ・ゴミ出しの時など、自分の家の前で子どもたちに声かけ、挨拶をすればよい。
 - ・今の若い人は町内会に入会することについての、メリット・デメリットを考える。
 - ・面識がない人への声かけが難しい面もあるが、まず隣人への声かけから始めては？。
 - ・個々が思いやりを持ってつながりあえる関係を築き、住みよい環境のまちづくりを心掛けたい。
 - ・日々コミュニケーションをしっかりとるようにしよう。

○キャッチフレーズⅡ（福山市民憲章）

- きまりを守り よい習慣をつくりましょう
- 子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう

- ②地域教育・生涯学習
- ③地域環境・衛生
- ④安心安全・防犯
- ⑤防災
- ⑥自然環境

②地域交流・生涯学習

[地域交流・生涯学習]

- 良い点
- ・以前と比べて子どもたちの姿をよく見る。子どもたちの姿は町の様子を明るくする。
 - ・子ども会がなくなり、地域の方にお世話になり(ラジオ体操等)感謝。
 - ・最近、中央中学校の生徒の態度が非常に良くなった。

- 課 題
- ・登校班の見守りをしているが、気になる点が多い。
 - ・町内会の加入率が悪く、どの子どもかわからない。
 - ・子どもの教育、声かけ、言葉の言い方で、不審者と間違われる。
 - ・地域での子どもに対する挨拶に学校差がある。挨拶ができない子がいる。
 - ・地域の安心安全のためにも、みんなの「まち」はみんなで守るという意識が必要だと思う。

- 目 標
- ・町内会を軸に活動していく。小学校の清掃など子どもと一緒に活動してはどうか。
 - ・子ども育成の為、道徳の時間を草取りなどの労働してみてもどうか。
 - ・子ども会(ソフト・フット)をしてやりたい。
 - ・子どもを範疇にいれた行事等の検討。
 - ・子育ての中で親の挨拶を見て子どもも自然に挨拶するようになるのでは？
 - ・大人から声をかけて子どもの目線で話をするのが大事。
 - ・町内でもあいさつ運動をしてみたら？面識のない人でも挨拶をされると気持ちがいい。
 - ・公民館の「ふれあいだより」に学区からのお知らせは書いてあるので、もっと活用を。
 - ・挨拶を積極的に行う。
 - ・コミュニティ参加を促す。学区の祭り等への参加(PR)、子どもが参加できる機会を作る。

③地域環境・衛生

[地域環境]

- 良い点
- ・ 治安が良く、道端のゴミも少ない。
 - ・ 資源回収に積極的に取り組んでいること。
 - ・ 公民館、コミュニティセンター、この2館は地域の財産。
 - ・ 立派な集会所がある。
 - ・ 街中に位置して店も多く、便利であるとともに蔵王山といった自然も身近である。
 - ・ 他の地域より引越してきたが、近所の人もとてもいい方でとても良い町内である。

- 課題
- ・ アレチヌスピトハギ(雑草)をなんとかしたい。草刈りの時期を9月中旬以前に行う。
 - ・ 川によく物が不法投棄されている。
 - ・ 水門の修理が必要。(自動開閉にしてほしい)
 - ・ 公園がない。
 - ・ 交番の管轄が吉津交番なのは不便である。深津交番にならないのか。
 - ・ コミュニケーションの場が必要。幼稚園の遊戯室に冷暖房設備がない。
 - ・ バスの本数が少ない。
 - ・ 大仏川をはさんだ道が狭いのに、車がスピードを出しすぎる。
 - ・ 神社前の道の植木が伸び、街灯が無いので危ない。
 - ・ 雨が降った後、溝がつまり、水位が上がって水があふれ、道路と同じ高さになり危ない。
 - ・ 溝が狭い。
 - ・ 神社裏の溝にゴミがある。清掃活動をお願いしたい。町内には高齢者が多いので。
 - ・ 人口、特に若い人が少なくなっている。10年後には町内会が消滅しているのではないか？

- 目標
- ・ 資源回収に対応する集積所を整備すべき。
 - ・ 蓮池川の水をきれいになりたい。
 - ・ ガードレールの塗装。
 - ・ 蔵王山: 登山道標識、登山道整備。
 - ・ 蔵王山: 駐車場整備、展望所の整備。
 - ・ 蓮池川: 土揚場の遊歩道化。
 - ・ 蓮池川: 護岸に休憩所。
 - ・ 蓮池川: 小学校南に小橋。
 - ・ 藪山神社周辺の整備。
 - ・ 朝、バイクが1台通るのがうるさい。派出所への相談。
 - ・ 今後、地域環境を維持、整備する経費が必要。公平な負担の観点で町内会入会が求められる。
 - ・ 空家になったところは人が入れないようにすべき。
 - ・ 公園内のゴミが目立つ。各家庭で気をつけるのと、掃除回数の増も考えては？
 - ・ 団地内の戸数増加に伴い、車や子どもの人数も増えてきた。今まで以上の注意を。
 - ・ ミラーの設置等ができるか検討。
 - ・ 団地内コンクリートの高台で、子どもの危険な遊び方に、各家庭で今一度注意を。

[衛生]

- 良い点
- ・ ゴミステーションが新設置され評価できる。
 - ・ 暁連合町内会はなくなったが、うまくいっている。
 - ・ 朝、ゴミ出しの時間にゴミステーションで監督した。現在はだいたい綺麗である。

- 課題
- ・ 犬のふんが多い。
 - ・ 小学校の周りが汚れている。
 - ・ 町内会では水路は手をつけられない。
 - ・ 溝の改修(逆流する。衛生的にも改修必要)。
 - ・ ゴミステーションの掃除方法が正しく周知されていないためトラブルがあった。
 - ・ ゴミステーションに町内会以外の人が捨てる。捨てる方もマナーが悪い。
 - ・ ゴミステーションのよごれが目立つ。掃除当番がまわって来ていない。
 - ・ 生ゴミの日に、缶やプラのゴミが混ぜて出している。
 - ・ ゴミの出し方に問題がある。
 - ・ 野良猫が増えている。定期的に車で餌をやりに来る人がいる。(犬の糞はなくなった)

- 目 標
- ・ 児童部による公園の清掃は引き続き行う。
 - ・ ゴミの出し方の啓発。
 - ・ ゴミの分別講座をしてほしい。(プラゴミ、燃えるゴミ)
 - ・ 犬の糞が公園等に残っているので、看板をつけて、個人も気をつけてほしい。
 - ・ 蓮池川:清掃船の整備。
 - ・ 蓮池川:上流から下流までの清掃。
 - ・ 町内会に入っていない人がゴミを出している。ゴミステーションに看板を立ててはどうか？
 - ・ ゴミステーションをみんなで考えて設置する。協働のまちづくりにつながるのではないかな？
 - ・ 集合住宅の入居者において分別ができていないため、市や管理業者へ指導させる方法は？
 - ・ 新聞・段ボールなどを資源回収日の日に出してほしい。
 - ・ ゴミステーションはゴミ捨て場ではない。分別をきちんとしてほしい。
 - ・ 市役所の出しているゴミの分別の方法、場所などの案内をよく読むことが必要である。
 - ・ 猫との共生に関するガイドラインを福山市が条項として出しているので参考にすべきである。
 - ・ 庭木も2～3年に一度は伐採しないとイケない。
 - ・ ゴミを出す時、分別がうまくいっていないので、しっかり声掛けをすることが必要である。
 - ・ 資源ゴミの出し方などの検討。

④安心安全・防犯

[安心安全]

- 良い点
- ・ 子ども見守り隊(老人会、民生委員)を行ってくれている。
 - ・ 地域の方に見守っていただくことは助かっている。
 - ・ 広い道に面した場所、通学路にストップマークを書いた。
- 課 題
- ・ 県道は要望があっても市はできないし、県と相談してもなかなか進まない。
 - ・ コーヒー館の所の押しボタン信号の待ち時間が長くて不便である。
 - ・ 暁の星の学生がバスで登下校の通路に横断歩道が必要。
 - ・ 道路が狭い所(北消防署前道路から中央中方面の上)にガードレールを。
 - ・ 車が多い、県道や道幅が狭い。
 - ・ 安全対策で設置したポールが車の離合や歩行者の通行を妨げ、危険が増幅している。
 - ・ 周辺の道が狭く、歩道や車道で危険箇所が多い。
 - ・ 道路事情に問題あり(側溝が深い。補修、塗装が必要な箇所あり)。
 - ・ 稲荷神社の補修、神社への道のマンホールが滑る。
 - ・ 町内での迷惑駐車が問題である。
 - ・ ガードレールのない橋が危険。
- 目 標
- ・ 町内危険箇所の点検。
 - ・ 交通安全の面で反射板タスキを着用しよう。
 - ・ 子どもの通学路での安全確保。
 - ・ 大仏川を挟んだ道路に標識設置(車のスピード出しすぎ、自転車の飛び出しが多い)。
 - ・ 危険な場所を学校から子どもに伝えてほしい。
 - ・ 盆踊りの場所が高所にあるので平地でできないかな。
 - ・ 標識の設置や道路へのゾーン表示。→警察への交渉。
 - ・ 防犯カメラの設置。

[防犯]

- 良い点
- ・ 近隣の目があるので、防犯対策につながる。
 - ・ 防犯灯が明るくて良くなった。
 - ・ LED防犯灯が新設置され評価できる。
- 課 題
- ・ 公園に防犯カメラの設置が必要(立入禁止区域に勝手に入る)。
 - ・ 公園で携帯電話を充電したり、タバコ喫煙の事例がある。
 - ・ 盆・正月の不在時の防犯。
 - ・ 町内で人の目が少なく、知った顔が少なく防犯上のリスクが高まる。
- 目 標
- ・ 防犯の啓発。

⑤防災

[防災]

- 良い点
- ・ 災害が少ないので良い。
 - ・ 自然災害が少なく、平たんな土地で駅も近くバスの便がある。
 - ・ 高台にあり、防災面で安心である。
- 課題
- ・ 自然災害の場合の避難場所の意思統一ができていない。
 - ・ 災害時の避難場所、公民館とコミュニティセンターは築後何十年も経て問題ないか。
 - ・ 山の崩れ、奈良津の断層が崩れると土砂が水路に流れ巖山西も危ない。
 - ・ 年配の方には、個人情報のことがあり、いざという時声をかけられない。
 - ・ 町内の災害危険地域はどの様になっているか？巖山斜面の落石、砂防ダムの状況が心配。
 - ・ 災害時の避難場所がよくわからない。
 - ・ 水門の問題。
 - ・ 土砂災害の時の避難場所は葦山神社と今まで言われていたが、神社西側は崩れている。
 - ・ 大雨が降ったら何処に避難すればいいのか？暁の星学校までは遠い。
 - ・ 西深津学区は土砂災害危険地区になり、葦山も危険区域として県ハザードマップに載っている。
- 目標
- ・ 防災については避難場所を確認し、非常食のことなどお互いに話し合いをしよう。
 - ・ 津波、大雨が降った時、土砂くずれ等おきた時は3階以上・山頂とかに逃げること。
 - ・ 過去の災害経験から町内会の行事活動が災害時の声掛けや助け合いにつながる。
 - ・ 洪水なども町ぐるみで考えていかなければならない。
 - ・ 防災や避難場所について、町や隣近所で考えていく必要がある。
 - ・ 防災について、町内で何ができるのか？町内の役員で何かしてほしい。
 - ・ 注意報・警報はどのようになっているのか？町内に放送や警報設備が必要。
 - ・ 災害が起こることを考え、組内で各家庭の日中・夜間の情報を共有し、台帳で管理してはどうか？
 - ・ 災害があった時、組内や近所の協力が必要。
 - ・ 災害時、決まった車にスピーカーを乗せ、町内をまわり危険を知らせる。
 - ・ 災害時、自分の出来る事を行う。(例えば隣の家へ知らせる)
 - ・ 平地であろうが、山であろうと、安全の意識をなくして、個人が認識を変えていかないといけない。
 - ・ 非常用バッグを玄関に準備する。
 - ・ 津波・土石流の場合、どこに逃げるか、一箇所に決めてほしい。
 - ・ 津波は高いところ、地震の場合はどこに、神社・避難場所・個々の学校？
 - ・ ニュースを見たら早めに行動。
 - ・ 広島の災害も考えるところ。家にいた場合、2階に垂直避難、自分自身が方法を考えること。
 - ・ 災害は、いつどう来るかわからないので、自分自身で考えておく。
 - ・ 避難場所の確認(地震による避難等)。暁会館をすぐに開放する。常時開放してもいいのでは？
 - ・ 町内放送設備の確認。聞こえる場所と聞こえない場所があるので、新しく設置する。
 - ・ 災害時にはまず自分の安全を確保し、それから周りの手助けをするよう心掛ける。

⑥自然環境

[自然環境]

- 良い点
- ・ 農業研究センターの桜が綺麗で、訪れる人が多い。一般公開でもイベントに多くの人。
 - ・ 蔵王山、蓮池川、巖山観音、深津山桜トンネル等、憩いの場所がある。
- 目標
- ・ 水辺公園にある遊歩道が、蓮池川の方まであれば魅力的。
 - ・ 美しい町にして行くのが、学区蓮池川の清掃だけではなく、三本川の清掃もした方が良い。
 - ・ 蔵王山:ウォークラリーを考える。
 - ・ 自然に親しむイベント(観察・探検)等を考える。
 - ・ 蔵王山:桜の植栽・四季の花植栽。
 - ・ 蓮池川:魚のたまり場を作る。
 - ・ 蓮池川:ソーラーで動く噴水設置。
 - ・ 西深津自然マップを作る。

<p>○キャッチフレーズⅢ（福山市民憲章）</p> <p>○ 文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう</p> <p>○ 人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう</p>	<p>⑦人権啓発</p> <p>⑧地域福祉</p> <p>⑨地域文化</p> <p>⑩スポーツ・健康</p>
--	--

⑦人権啓発

[人権啓発]

- 良い点
- ・ 9月の2回の人権学習講座が興味深い内容。皆さんにもっと情報を回した方が良い。
 - ・ 中国帰国者の会の方と盆踊り等の共生。現在では準備から当日まで参加が増えている。
 - ・ 話をするとき、微笑みながら話してくれて話し合いが進んでいった。
 - ・ 他の町内会より行事の参加率が良い(行事による)。
 - ・ まとまりが良く、住民学習会もたくさんの人が集まった。
 - ・ 他の町内会より、まとまりがとれている。

- 課題
- ・ 自分も付き合い方を考えさせられた。
 - ・ 個々の人が無関心である。
 - ・ 自分視線でもの事を決めないでほしい(上から目線はよくない)。
 - ・ 住民学習会への参加は役員が多い。

- 目標
- ・ 住民学習会参加は、毎回集まる方が多いが、参加したことのない方への呼びかけが大事。
 - ・ 価値観の違う人が集まっている。意見の違いを認めることから始めると良い。
 - ・ 課題・問題点を解決していく為に、やれることを考えていくべき。
 - ・ 話し合いには声かけが必要だと思う。
 - ・ 住民学習会には女性が大半。会合、行事には男性の参加も必要。
 - ・ 声かけにより住民学習会への参加人数が増えるのでは？

2014年度[住みよいまちづくり学習会] アンケート

「学習会を活発にするためには？」のまとめ

- ・ 町内会入会者が増える事と、この集会を続けていくこと。
- ・ 続ける事に意義がある。
- ・ 全員参加すればよいと思う。いつも参加1割にもなってない！！
- ・ もう少し参加者が多ければ良いと思う。
- ・ 気軽に声を出すこと。
- ・ もっと出席率を上げる。
- ・ 多数の方の参加をすすめていく。
- ・ 声かけして多くの人に参加してもらい意見を聞く。
- ・ 集まり、日常の声かけ。
- ・ 出来るだけ全員集合する様に心がけてほしい。
- ・ 参加数を増やす。役員で回って呼びかけ勧誘する。
- ・ 町内コミュニケーション作りが第一。
- ・ 新しいメンバーの参加もあり、顔と名前を覚えられた方も多かった。
- ・ 子ども復活の話も出た。学区内の活性化の為に学区内全体の問題として考えてほしい。
- ・ まず参加すること。たくさんの人に参加してもらう。
- ・ 今回も良かったと思うが話しやすいテーマにする事で、和気あいあいと話し合えた。
- ・ もう少し若い人に参加出来る様に考えてほしい。
- ・ 出席をする様に誘った方が良い。
- ・ 役員等の負担の軽減の為に周囲の協力。
- ・ 機会あるごとに、見たり読めたりするようなもので啓発運動を。
- ・ 子ども連れではなかなか難しい。一緒に参加できれば若い子育て世代の方も参加しやすい。

- ・やるべき事は「話し合いのしおり」に沢山網羅してある。今後はどのように実行・活動する段階。
- ・まずは組内から声かけ、誘い合い。
- ・参加者がいつも少ない。もっと話し合い(身近な事)があってほしい。
- ・個人個人の意識の改革。
- ・小さい単位の会合を開くと良い。
- ・町内会・組・etcの活性化を図って、親しみ又あいさつが簡単に出来る様な取組を実施する。
- ・椅子、テーブル形式にすると出かける気がおきるかも？(高齢多く、足の不自由な人もある)。
- ・プライバシー問題ということが絡んで縮こまってきた現状がある。
- ・学習会に参加して行くことで、町内の事を理解していける。両隣りに「行きましょう」と声かけを。
- ・小さな集まりが出发点。近所との問題も、そういう集まりの中で解決出来る事もある。
- ・なるべく多くの方に出席していただき、いろいろな意見が出ればもっと盛りあがると思う。
- ・明るく楽しく笑いのある有意義な話し合いが出来る会合にしてほしい。
- ・個人の問題から始めたらよい。
- ・出席者が少ない。多くするのを考えたい。
- ・小単位の話し合いをしてみたら？。
- ・役員になることでよくわかる。
- ・参加者を増やすために、掲示の工夫、職場内住民への声かけ。
- ・参加人数を増やす(職場内での声かけによる案内は効果があると思う)。
- ・みんなが関心を持つ議題を取りあげる。
- ・他の行事と合わせた開催を行う。
- ・町内会の掲示、職場が固定されているので、職場間の呼びかけをすれば良くなると思う。
- ・より多くの方が参加できるようにする。
- ・形にこだわらず、自由な形式で行えるようにする。
- ・日ごろから各町内会各戸で触れ合う機会を増やす。
- ・付き合いの少ない町内会なので、活動強化のためにもコミュニケーションをはかりたい。
- ・今回の参加者は20名という人数だった。事前の声かけ、呼びかけが必要。
- ・近所への声かけで参加を増やす。
- ・周りの人にも声かけをし、参加する人数を増やす。
- ・ある程度話し合いのテーマを絞ったが良いと思う。今回は漠然としすぎて話しにくかった。
- ・隣の人に声かけをして、一人でも多くの人に会合に出席してもらうようにする。
- ・お互いに声かけをして学習会に参加する。
- ・声かけし誘いあい、皆さんが出席して、幅広い意見を出し合うこと。
- ・どんな話し合いをするのか回覧板でわかり易く知らせ、若い世代の方の参加が増えればよい。
- ・堅いイメージがあり参加しにくいとの声が多い。
- ・地域の共通する課題(例:防災)等、誰も関心のあるテーマで多くの人に集まってもらおう。
- ・良い意見については今後活かして、検討した問題についてどう結果が出たか教えて欲しい。
- ・いろんな行動に進んで参加して皆の元気な顔を見たい。
- ・気楽に発言する場であればよい。
- ・コミュニケーションのとれた町内会を。
- ・町内活動を全世帯参加で活発に出来ればよい。
- ・町内各組の近所付き合いが一番大切。
- ・事前に、声かけされたら良いのでは。
- ・言うは易く、行い難し、物事前向きにとらえ実行あるのみ。
- ・小さいグループを作って多数の課題を手分けして検討するようにしたらどうか。
- ・みなさん意見を聞けて、とても良い学習会であった。今後もこのようなスタイルで継続を。
- ・役員だけでなく、広く集まるようになればと思う。
- ・日頃から人とのつながりを大事にし、誘い合える関係作りにつとめる。
- ・若年層の参加があればよい。
- ・若年層を増やすには、あいさつを心がける等が大事。
- ・助け合えるつながりが出来ればよい。
- ・啓発を多く。
- ・事前に話し合う内容を伝える事で、もっと積極的な意見が出るのでは。

⑧地域福祉

[地域福祉]

- 良い点
- ・ 他市と比較すると、福祉のサービスが充実していてレベルが高い。
 - ・ 一人暮らし(高齢者)の方に対しても声の掛け合いがあり、さみしさも和らぐ。
- 課題
- ・ 隣の人の安否がわからなくなるのではないか。(ドアを閉めたらわからない)
 - ・ 孤独死された例がある。
 - ・ ひとり暮らしの高齢者に、真剣に取り組まないとダメになる。
 - ・ 町内会や老人会に入ってもらえない。1人暮らしの方が居られる。どうすればいいか？
 - ・ 介護をするとストレスがたまる。誰か助けてくれる人がいればいいのと思う。
 - ・ 無関心の時代。地域の人に高齢者の1人暮らしを知っておいてもらわないといけない。
 - ・ 役員として各家庭に訪問する事があり、高齢者の一人暮らしや、体の不自由な方も多い。
- 目標
- ・ 災害時に要支援者の手助けをどうするのか、町内で集まって話し合う場がほしい。
 - ・ 高齢化に伴う、行事のあり方や運営の検討。
 - ・ 高齢者の増加にともない、詐欺防止の啓発が必要。
 - ・ 個人情報の問題もあるが、各家庭の状況をまわりの人が知っておく必要がある。
 - ・ 要援護者がおられる家庭を把握して、災害時に誰が手助けするか決めておく必要がある。
 - ・ 高齢者・社会的弱者などの安否確認が必要(民生委員と協力する)。

⑨地域文化

[地域文化]

- 良い点
- ・ ミュージアム「花」が出来て良い。
 - ・ 葦山稻荷神社は誇れる文化財。
- 課題
- ・ いろいろ名所があるが、掘り起しが浅い。
- 目標
- ・ 文化財(巖山観音、断層など)町内会で見学したり、勉強してみる。
 - ・ 史跡などの見直し。
 - ・ 地域が誇れる人・もの(有形・無形)文化財等の調査、掘り起こし。

⑩スポーツ・健康

[スポーツ]

- 良い点
- ・ 学区民運動会は、役員、選手も高齢化し、小学校と併せて実施している。
- 目標
- ・ コミュニケーション手段の一つとして、グラウンドゴルフを推奨したい。
 - ・ スポーツ活動の推進

[健康]

- 目標
- ・ 自分のことは自分でまず守ろう(健康に留意すること)。
 - ・ 健康に関する学習。
 - ・ 体育サークルの新設。
 - ・ ウォーキングマップの作成。

6. 「西深津学区まちづくり計画」 取り組み項目

- 取り組み項目設定に当たっては、学区全体の行事だけでなく、学区内の町内会・諸団体が実施する事業との関連が深いので、西深津学区まちづくり推進委員会を構成する諸団体の事業(2014年度総会時点)も、「西深津まちづくり計画」の事業項目に継続事業として網羅しました。
- 計画策定にあたっては、単位町内会の「住みよいまちづくり学習会」で、2012年度～2014年度で話し合われた内容(学区・町内会の①よい点 ②課題 ③目標)を基底にしました。
- 継続事業に加えて、課題解決に向けた事業や将来実施したい事業を新規事業として設定しました。
- 事業の実施主体は、町内会・諸団体の事業は独自に実施するが、学区全体に関連する事業や、まちづくり推進委員会の事業については、実行委員会又は実施主管団体を定めて実施します。
- 計画の実施過程での事業内容の変更や新規事業については、その都度、まちづくり推進委員会や関係団体で協議して決定します。

(1) 取り組み項目(継続事業・新規事業)

キャッチフレーズⅠ(福山市民憲章)	取り組み項目
<ul style="list-style-type: none"> ○ 心に太陽をもち 胸をはって元気に働きましょう ○ ちいさな親切を 勇気を持って行いましょう 	①地域交流・活性化 (学区・町内会)

①交流・活性化(町内会・学区)

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
町内会・交流活性化	各町内会毎に計画実施	各町内会				○
学区納涼盆踊り大会	毎年8月 小学校グラウンド	まちづくり推進委員会				○
学区盆踊り大会練習	毎年3回 小学校体育館	まちづくり推進委員会				○
いきいきフレッシュツアー	年1回(バス旅行)	福祉を高める会 町内会連合会				○
老人クラブ親睦旅行	年1回(バス旅行)	老人クラブ連合会				○
暁4町内会親睦旅行	年1回	暁4町内会				○
東吉津親睦旅行	年1回	東吉津町内会				○
親睦旅行	年1回(バス旅行)	学区女性会				○
視察研修	年1回	公衆衛生委員会		○		
巖山東親睦会	年1回 巖山会館	巖山東町内会				○
巖山中親睦会	年1回 巖山会館	巖山中町内会				○
巖山中親睦会	年1回 巖山会館	巖山中町内会老人クラブ				○
巖山西親睦交流会	年1回(とんど、ゲーム等) 巖山会館	巖山西町内会				○
コモンステージ隣人祭り	年1回	コモンステージ深津自治会				○
暁4町内会盆踊り大会	毎年8月 暁中央公園	暁4町内会盆踊大会実行委員会				○
蕨山盆踊り大会	毎年8月 蕨山稲荷神社	蕨山町内会				○
蕨山ふれあい祭り	11月 蕨山会館	蕨山町内会				○
初日の出登山	1月	東吉津町内会				○
ボランティア団体	盆踊り 文化祭の出店	おやじの会			○	
(新)ボランティア育成	学区内イベント等への協力	まちづくり推進委員会			○	

キャッチフレーズⅡ(福山市民憲章)	取り組み項目
<ul style="list-style-type: none"> ○ きまりを守り よい習慣をつくりましょう ○ 子どもたちのために 明るい家庭と美しい町をつくりましょう 	②地域教育・生涯学習 ③地域環境・衛生 ④安心安全・防災 ⑤防災 ⑥自然環境

②地域教育・生涯学習

[地域教育]

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
こども土曜クラブ	毎年1回 施設見学	まちづくり推進委員会 公民館			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 ドッジボール	まちづくり推進委員会 小PTA			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 グラウンドゴルフ	まちづくり推進委員会 体育会			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 蓮池川自然体験	まちづくり推進委員会 町連・公衛・小PTA			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 プール遊び	まちづくり推進委員会 青育協			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 野外活動	まちづくり推進委員会 公民館			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 史跡めぐり	まちづくり推進委員会 老連			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 おやつ作り	まちづくり推進委員会 女性会			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 しめ縄作り	まちづくり推進委員会 老連			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 コンサート	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 ゲーム大会	まちづくり推進委員会 民生・児童委員			○	
こども土曜クラブ	毎年1回 蔵王ハイキング	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
視察研修	2013年度～実施	青育協			○	
小学校託児ボランティア	年間8回(参観日等) 小学校	ボランティア「さざんか」			○	
登校時声かけ運動	毎月1回(17日)	学区老人クラブ連合会、女性会				○
登校時声かけ運動	年間	ボランティア				○
こどもくらぶ	毎月1回(金曜)幼児対象 公民館	子育てサークル			○	
子育て交流事業	5月～2月(第1.2.3.5木曜)わくわく広場	深津コミュニティセンター			○	
子育て交流事業	5月～2月(第4木曜)わくわくコミクラブ	深津コミュニティセンター			○	
子育て交流事業	年1回 地球っこクラブ	深津コミュニティセンター			○	
暁北ラジオ体操	7～8月	暁北町内会児童部			○	
巖山東ラジオ体操	7～8月	巖山東町内会老人クラブ			○	
東吉津ラジオ体操	7～8月	東吉津町内会老人クラブ			○	
薮山ラジオ体操	7～8月	薮山町内会老人クラブ			○	
巖山中ラジオ体操	7～8月	巖山中町内会老人クラブ			○	
巖山西ラジオ体操	7～8月	巖山西町内会老人クラブ			○	
あいさつ運動		小学校				○
あいさつ運動		中学校				○
(新)地域ぐるみ あいさつ運動		まちづくり推進委員会				○

[生涯学習]

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
生きがいづくり事業	ビデオ鑑賞会(年2回) 公民館	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
生きがいづくり事業	陶芸教室(年1回) 公民館	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
生きがいづくり事業	ほほえみコンサート(年1回) 公民館	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
生きがいづくり事業	フラワーアレンジメント(年1回) 公民館	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
生きがいづくり事業	まちづくり講演会 公民館	まちづくり推進委員会 福祉を高める会			○	
公民館サークル	木目込み(毎月第2・4月曜) 公民館	木目込みサークル			○	
公民館サークル	民謡(毎月第2・4月曜) 公民館	民謡サークルさなえ会			○	
公民館サークル	太極拳(毎週月曜) 公民館	太極拳サークル			○	
公民館サークル	空手(毎週月・水・金曜) 幼稚園	徹心館			○	
公民館サークル	手芸(毎週火曜) 公民館	ゆうゆうくらぶ			○	
公民館サークル	ソーシャルダンス(毎週火曜) 公民館	Iクラブ			○	
公民館サークル	編み物(毎月第2・4火曜) 公民館	ニットクラブ			○	
公民館サークル	ちぎり絵(毎月第3火曜) 公民館	ちぎり絵サークル			○	
公民館サークル	スタンドグラス(毎週火曜・第3週を除く) 公民館	スタンドグラスサークル			○	
公民館サークル	琴(毎週火曜・第3週を除く) 公民館	お琴の会			○	
公民館サークル	油絵(毎月第2・4水曜) 公民館	にゅーパレット			○	
公民館サークル	手芸(毎月第1・3水曜) 公民館	もめんクラブ			○	
公民館サークル	ハワイアンフラダンス(第1・3水曜) 公民館	ハワイアンフラ			○	
公民館サークル	ハワイアンフラダンス(第1・3木曜) 公民館	ハワイアンフラ			○	
公民館サークル	フォークダンス(第2・4木曜) 公民館	フォークダンスサークル			○	

公民館サークル	ヨガ(毎週水曜) 公民館	シャンティ ヨガ			○	
公民館サークル	健康体操(毎月第1・3木曜) 公民館	西深津健康体操			○	
公民館サークル	琴(毎週金曜・第3週を除く) 公民館	箏徑会			○	
公民館サークル	体操(毎週金曜) 公民館	ラブリークラブ			○	
公民館サークル	フラワーアレンジメント(毎月2・4土曜)	お花の会			○	
公民館サークル	詩舞(毎月1・3土曜) 公民館	やまと舞			○	
公民館サークル	カラオケ(毎月2・4土曜) 公民館	カトレア			○	
公民館サークル	レクリエーションダンス(毎週土曜) 公民館	きらりこ			○	
サークル活動	年1回(入浴剤づくり等)	巖山中町内会女性会			○	
(新)サークル活動 新設		公民館			○	

③地域環境・衛生

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
ふれあい花壇活動	ばら花壇管理	暁老人クラブ				○
ばら花壇維持管理	年3回(防虫・剪定・施肥)	西深津小学校 学区老人クラブ				○
ばら花壇維持管理	通年	中央中学校				○
ばら花壇維持管理	通年	福山マリア保育園				○
暁北資源回収	年6回	暁北町内会				○
暁南資源回収	年4回	暁南町内会				○
木ノ浦資源回収	年4回	木ノ浦町内会				○
東吉津資源回収	年2回	東吉津町内会老人クラブ				○
巖山東資源回収	年3回(1回三町合同)	巖山東町内会				○
巖山中資源回収	年5回(1回三町合同)	巖山中町内会				○
巖山西資源回収	年3回(1回三町合同)	巖山中町内会				○
薮山資源回収	年4回	薮山町内会				○
暁南町内清掃	年2回(緑公園・集会所)	暁南町内会				○
暁北町内清掃	年12回(毎月1回うち年2回全市清掃日)	暁北町内会				○
暁北公園清掃	年1回(毎月1回)	暁北町内会児童部				○
木ノ浦町内清掃	年7回(学区蓮池川清掃日)	木ノ浦町内会				○
東吉津町内清掃	年1回(溝清掃)年7回(学区蓮池川清掃日)	東吉津町内会				○
東吉津町内清掃	年1回(道路・水路等)	東吉津町内会老人クラブ				○
巖山東町内清掃	年2回 年2回(全市一斉清掃日)	巖山東町内会				○
巖山東会館前清掃	年1回(巖山会館前)	巖山町内会老人クラブ				○
コモンステージ深津清掃	年1回	コモンステージ深津自治会				○
コモンステージ深津	年3回(清掃1回、防虫1回、樹木管理1回)	コモンステージ深津自治会				○
薮山町内清掃	年5回	薮山町内会				○
薮山町内会公園清掃	年3回(西深津四丁目公園)	薮山町内会				○
巖山中町内清掃	年2回(町内溝清掃)	巖山中町内会				○
巖山西町内清掃	年2回(町内溝清掃)	巖山西町内会				○
(新)公衆衛生事業	衛生施設整備・ごみステーション等	まちづくり推進委員会				○
(新)公衆衛生啓発		各町内会	○			○

④安心安全・防犯

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
交通安全街頭啓発	年3回 学童通学路安全確認	学区交通安全自治会	○			○
交通安全教室	年1回 小学生対象	学区交通安全自治会				○
カーブミラー点検	通年 点検・清掃	各町内会、学区交通安全自治会				○
学区内巡回補導	月1回(第3木曜)	学区青少年育成員協議会				○
学区内巡視	年2回(7月・12月)	小PTA生活安全部 青育協				○
「こども110番の家」確認	5月	小学校 小PTA 青育協				○
(新)学区内安全点検		町連、交通安全自治会 防犯組合				○
(新)街路灯点検		各町内会、防犯組合				○
街路灯確認点検		交通安全自治会				○
(新)防犯カメラ設置		各町内会、防犯組合	○			○

⑤防災

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
防災訓練	2005年度、2010年度、2012年度開催	自主防災会				○
防災学習	年1回	自主防災会				○
(新)防災・危険箇所	危険箇所点検確認	自主防災会 連合町内会				○
(新)危険箇所保全	危険箇所環境保全	自主防災会 連合町内会	○			○
(新)防災訓練		連合町内会				○
(新)防災計画策定	学区防災計画	まちづくり推進委員会 町内会連合会 自主防災会	○			○

⑥自然環境

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
蔵王山桜植樹	年1回(植樹1回)	福山市蔵王の森を愛する会 町連	○			○
蔵王山桜育成管理	年3回(下刈り2回、薬剤散布1回)	福山市蔵王の森を愛する会 町連	○			○
蔵王山遊歩道清掃	年2回(遊歩道清掃管理受託業務)	福山市蔵王の森を愛する会 町連	○			○
蓮池川清掃	年間8回(4月～11月)	公衆衛生・町連				○
(新)自然に親しむイベント	蔵王山・蓮池川・自然に親しむイベント	まちづくり推進委員会			○	
(新)蔵王山憩いの森整備	西深津側の整備(休憩所等)	まちづくり推進委員会	○			○
(新)蓮池川整備	親水施設整備	まちづくり推進委員会	○			○

キャッチフレーズⅢ(福山市民憲章)	取り組み項目
<ul style="list-style-type: none"> ○ 文化を育て 健康で平和な社会を築きましょう ○ 人権を尊重し 差別のない人間関係をつくりましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦人権啓発 ⑧地域福祉 ⑨地域文化 ⑩スポーツ・健康

⑦人権啓発

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
住みよいまちづくり 学習会(全体会)	毎年10月中 公民館 全町内会	学区人権学習推進委員会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 巖山会館	巖山東町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 公民館	巖山西町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 西深津公民館	巖山中町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 深津山会館	深津山町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 コモンステージ	コモンステージ深津自治会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 木ノ浦会館	東吉津町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 木ノ浦会館	木ノ浦町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 薊山会館	薊山町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 暁会館	暁北町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 暁中会館	暁中町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 深津コミュニティセンター	暁南町内会				○
住みよいまちづくり学習会	毎年10月中 暁第2会館	暁東町内会				○
人権講座	9月、2回開催 深津コミュニティセンター	深津コミュニティセンター				○
団体別人権学習	団体別に学習会実施	まちづくり委員会諸団体				○
多文化共生講座	年1回 中国帰国者の会等と共催	深津コミュニティセンター				○
施設利用者学習会	年1回 コミュニティセンター利用者対象	深津コミュニティセンター				○
(新)人権ステッカー作成	各戸貼付	人権学習推進協議会		○		
(新)人権啓発看板補修	学区内	人権学習推進協議会		○		

⑧地域福祉

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
もちつき大会	毎年1回(12月) 幼稚園園庭	福祉を高める会				○
とんど行事	毎年1回(1月) 幼稚園園庭	福祉を高める会				○
とんど作り	毎年1回(1月) 公民館	町内会連合会				○
くれないサロン	年間12回(毎月第2金曜)公民館他	福祉を高める会 ボランティアさざんか	○		○	
おもちゃサロン	年間12回(毎月第2火曜)公民館	福祉を高める会 ボランティアさざんか	○		○	
訪問活動	毎年12月、一人暮らし訪問	福祉を高める会 女性会	○		○	
カラオケサロン	カラオケ(毎月第3土曜日) 晩会館	暁老人クラブ連合会	○		○	
ご長寿を祝う会	9月実施 労働会館みやび	ご長寿を祝う会実行委員会	○			○
ネットワーク活動	要援護者見守り活動	民生委員・児童委員	○			○
要援護者避難支援	災害時の要援護者避難支援	民生委員・児童委員	○			○
ゆうゆうサロン	4月～2月(毎週木曜)	深津コミュニティセンター				○
世代間交流	年3回(子どもと高齢者の交流)	深津コミュニティセンター			○	
施設利用者交流会	12月 コミュニティセンター利用者交流	深津コミュニティセンター			○	
いやしのサロン	毎月第2. 第4火曜(高齢者)	深津コミュニティセンター			○	
出前講座(高齢者講座)	年3回(6・10・11月)(深津住宅1号館)	深津コミュニティセンター			○	
(新)緊急情報カプセル作成	緊急情報を各戸に保管	まちづくり推進委員会 町内会連合会		○		

⑨地域文化

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
にしふかつ文化祭	毎年1回(10月)小学校体育館 幼稚園	まちづくり推進委員会				○
(新)地域が自慢できるもの・人 発掘	学区が誇れるもの・人(有形・無形)の調査・まとめ	まちづくり推進委員会			○	
(新)文化財等の調査まとめ	郷土の史跡・文化財等の調査・まとめ	まちづくり推進委員会			○	

⑩スポーツ・健康

事業	内容(実施時期・場所等)	取り組み団体		実施目標		
		学区	協働	短期	中期	長期
学区民運動会	西深津小学校グラウンド	まちづくり委員会 主管:体育会			○	
グラウンドゴルフ	毎週3回(月・水・金) 幼稚園園庭	体育会			○	
カローリング大会	毎年1回 小学校(体育館)	体育会			○	
ソフトバレーボール	毎週1回(木) 小学校(体育館)	体育会			○	
バレーボール	毎週2回(火・金) 小学校(体育館)	体育会			○	
バドミントン	毎週2回(水・土) 小学校(体育館)	体育会			○	
グラウンドゴルフ大会	年2回 小学校グラウンド	体育会			○	
学区老連グラウンドゴルフ	年1回 小学校グラウンド	学区老人クラブ			○	
ふれあい体育まつり	年1回 小学校体育館	学区老人クラブ			○	
暁連合グラウンドゴルフ	年2回 中溝公園、暁中央公園	暁連合町内会			○	
マラソンソフトボール	年1回 小学校グラウンド	体育会			○	
ボウリング大会	年1回	蕨山町内会			○	
健康ウォーキング	年1回	蕨山中町内会老人クラブ			○	
(新)体育サークル新設		体育会			○	
(新)ウォーキングマップ作成		まちづくり推進委員会		○		

こんなにすてきな西深津 ～わたしたちのふるさと～



すてき・その1 自然がいっぱい蔵王山

蔵王山は、校区の北にある山です。学校の窓から蔵王山がよく見えます。遠足に行っても楽しかったです。

春には桜がきれいに咲き、新緑のころには鮮やかな緑におおわれます。また秋には、黄色や赤に色を変えた蔵王山はとてもきれいです。ほくたち西深津小学校の児童も、春には遠足に行ったり、秋にはどんぐりや松ぼっくりを拾いに行ったりしています。

蔵王山からの眺めは最高だよ。



2009年には、西深津30周年を記念し、わたしたちも参加して地域の人みんなで100本もの桜を植えました。みんなから蔵王山が愛されていることがわかりました。ほくたちが大人になるころにはますますきれいな蔵王山になります。楽しみです。



もっとたくさんの
すてきがあるよ。

「西深津緑公園」「中溝公園」「いわ山公園」「暁公園」などたくさんの公園があるよ。のびのびと遊ぶことができるよ。

西深津には、市内でも有名なパン屋さんやおいしいお団子屋さんがあるよ。ぜひ探してね。



ほくの名前は「にしんかっちゃん」です。よろしく。これから西深津の町を紹介するよ。西深津にはすてきなおとこがいっぱいあるよ。

ここがすてきな西深津町



西深津小学校



すてき・その4 地域で育てる あかつきふれあい花壇



10月27日には、全国花のまちづくりコンクールで表彰されました。いつもきれいな花が咲いて、よい香りがしてきます。

地域の人が作り、協力して手入れをしている花壇です。ばらが400本以上植えてあります。

今は、福山市のモデルバラ花壇になっています。また、今年

春になると、桜が満開に咲き、桜のトンネルができ、たくさんの人の心をいやしてくれる場所があります。それが、近畿中国四国農業研究センターに行く坂道の桜並木です。道の両側には、たくさんの桜の木が植えられています。



春には、地域のお花見スポットになっているよ。



すてき・その2 春がいっぱい桜並木



すてき・その3 しとみやま 地域で守る部山神社



昔から大切にされていた場所です。これからもずっと大切にしていきたいです。

校区の中央部の小高い丘の上にある部山神社は、室町時代に建てられたといわれている古くからある神社です。織田信長に追われた足利義昭が、毛利を頼って来たときに住んでいた館跡と伝えられています。こんなに昔からの建物も地域の人たちの協力で大切に保存されています。

